

**【港南区】令和元年第 2 回区づくり推進横浜市会議員会議
議事録**

開催日時	令和元年 6 月 3 日（月） 午後 3 時 00 分～午後 4 時 30 分
場 所	港南区役所 5 階 特別会議室
出席者	<p>【座長】梶尾明議員</p> <p>【議員：4 名】瀬之間康浩議員、田野井一雄議員、みわ智恵美議員、安西英俊議員</p> <p>【港南区：30 名】今富雄一郎区長、齋藤紀子副区長 山田洋福祉保健センター長、 馬淵勝宏福祉保健センター担当部長、 井深清港南土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和元年度個性ある区づくり推進費の執行計画について</p> <p>2 令和元年度港南区に係る予算の全体像について (塩田総務課長説明)</p>
発言の 要 旨	<p>安西議員：エンディングノートについて、本当に必要だと年々感じている。7 月 13 日にはエンディングノート上映会と書き方講座を実施し、各地域ケアプラザでも書き方講座を実施するとあるが、広報はどのように行うのか。</p> <p>竹田高齢・障害支援課長：広報よこは 6 月号でお知らせするほか、関係団体を通じてチラシを配布し、広く周知していく予定です。</p> <p>安西議員：エンディングノートは、何冊作成したのか。</p> <p>竹田高齢・障害支援課長：3,500 冊作成しました。</p> <p>安西議員：親が急に亡くなった等の相談を多く受けるが、残された家族は大変な思いをしている。戸籍課には、親が亡くなったときに何をしなければいけないかが分かるチェックシートがある。庁内でしっかり共有し、総合案内などで案内できるよう、丁寧な対応を進めて欲しい。</p> <p style="padding-left: 40px;">次に、平成 31 年度予算編成に向けた区提案反映制度について。 港南公会堂の早期整備があるが、進捗状況はどうか。</p> <p>林区政推進課長：港南公会堂の区の提案は、早期に整備されるよう着実に工事を進めることを要望しました。令和 3 年春のオープンに向けて、順調に進んでいます。</p>

安西議員：当初、区としては、バス停導線の改善などを要望していたが、局はどう進めているか。私も確認しているが、区もしっかり追いかけてもらいたい。

林区政推進課長：公会堂整備の検討には、区も入っており、区民の皆さまが利用しやすくなるよう進めていきます。

安西議員：建物やその中身は様々検討されているが、公会堂までの動線などもよく検討してもらいたい。例えば、樹木があって通れないといった、完成してからでは直せない課題は積極的に局へ提示するなど、区はしっかり関わってもらいたい。また、自転車駐輪場への動線についても、公会堂を管理することになる区はよく検討して欲しい。

関連して、土木事務所移転後の跡地について、地域ケアプラザの整備を、区としてどう進めていくのか。

林区政推進課長：旧港南区総合庁舎跡地に公会堂と新土木事務所の整備工事が進められており、丸山台にある土木事務所は令和3年春に移転予定です。丸山台は、地域ケアプラザが未整備地区ということもあるため、土木事務所跡地は、地域ケアプラザ及びコミュニティハウスの早期整備を、区として要望しています。スケジュールは未定ですが、引き続き関係局と調整していきます。

安西議員：整備にタイムラグが生じないよう、区としても強くアプローチし進めてもらいたい。

次に、交通安全対策について、地域子どもの安全対策協議会では登校時の見守りの啓発を進めているが、高齢化により、学援隊や見守りができない地域も増えている。見守りに関われる人が少ない地域が増えていく中で、どう安全対策を進めていくのか。

大木地域振興課長：ご指摘のとおり、見守り活動ができる人が増えているとは言えないと思います。一方、^{はちさん}83運動の意識は広がっており、地域に出ると「^{はちさん}83運動やっているよ」というお声をいただいています。今後も、様々な世代が見守り活動に参加できるよう啓発していきます。

安西議員：港南区には意識の高い方が多いが、地域によっては高齢の方が活動しており、気持ちはあっても体力的に参加が難しくなっている。地域子どもの安全対策協議会の意見等を踏まえ、的を絞って、モデル事例を他の地域に展開していくなど、検討してもらいた

い。

まずは、地域課題の掌握から始めるのがよいと思うが、どうか。

大木地域振興課長：地域や学校の特性は様々ありますので、6月から7月の安全対策協議会で課題をしっかりと吸い上げ、地域の方と相談しながら対応していきたいと思います。

みわ議員：子どもや子育て世代の防災啓発について、防災ガイド小学生編を改訂し、風水害編を追加するとあるが、ねらいは何か。

塩田総務課長：東日本大震災以降、防災教育は地震対策を中心にしてきましたが、近年はゲリラ豪雨や大型台風の被害が激甚化しており、風水害の正しい知識や身を守る行動の大切さを教育していくため、風水害編を追加することにしました。

みわ議員：どう自分の身を守るかについては、地震と風水害では対応が異なると思うが、どういう方に関わってもらい作成するのか。

塩田総務課長：校長会にお願いしてプロジェクトを組み、学校現場の状況を踏まえ作成していきます。

みわ議員：ゲリラ豪雨や予想できない雨量による浸水被害もあるので、被害に遭った他の都市や、下水について環境創造局の意見を聞くことも大事だと思う。

また、防災講演会については、女性や要援護者の視点を取り入れるとあるが、講演内容はどう反映していくのか。

塩田総務課長：防災講演は、NPO法人さくらネットの代表で、阪神淡路大震災で被災された石井布紀子さんを招き、経験を交えた話や、避難所が長期化する中での犯罪や授乳場所など、男性では気づきにくい話をしていただきました。

今後、幾つかの地域防災拠点で、石井布紀子さんを講師にしたワークショップを開催し、地域防災拠点の皆さんと一緒に避難所づくりを検討する予定です。

みわ議員：講演やワークショップの内容は、DVDにして地域の皆さんが気軽に学べるようにできないか。

塩田総務課長：著作権の問題もありますので、講演内容は映像で記録してありませんが、広く知らせていきたいと思います。

みわ議員：要援護者の支援について、支援をしていただく方を募集してもなかなか手が挙がらない状況がある。支援の手の挙げにくさに対して、どう取り組むのか。

畑岸福祉保健課長：何かあったときにサポートするとなるとハードルが高くなります。日々の生活の中での声かけや、回覧板を回す際になどに体の不自由な方が暮らしていることを知っていただくなど、何かあったときに声をかけ合あえるような、まずは緩やかな見守りの関係をつくっていただきたい、とお伝えしています。この関係を積み重ねることで、発災時に声をかけ合えるようお願いしています。

みわ議員：そういう流れで手が挙げればよいが、高齢化も進んでおり、地域によっては 500 世帯で要援護者が 10 人を超えるところもあると思う。気軽には手が挙がらないのではないか。誰でも支援者になれるという視点を持った広報をお願いしたい。

次に、平成 31 年度予算編成に向けた区提案反映制度では、市営住宅と区分所有型住宅が混在する野庭団地の再生・まちづくりがあるが、区はどのように関わるのか。

林区政推進課長：建築局が所管になりますが、今年度は学識経験者の意見を聞く予定で、区にも聞くことになっています。庁内プロジェクトには区も入るので、区の立場でいろいろな議論をしていきます。

みわ議員：お住まいの方々の声を吸い上げると思うが、区がプロジェクトに参加するに当たって、どのように情報を収集するのか。

林区政推進課長：建築局から地域の方の声を直接聞くことになると思いますが、今の段階は課題出しということで、例えば高齢化やバリアフリーの問題、生活面の緑道の高低差などを、区としては把握して共有する形で進めていきます。

みわ議員：区として、バリアフリー化や高齢化の問題を、このまちづくりにきちんと持ち込むということか。

林区政推進課長：はい。区の提案の中にも、子育てがしやすいまちづくりや、バリアフリー化など色々なものを提案しています。

みわ議員：しっかり区民の声を吸い上げて進めていただきたい。

次に、期日前投票所の体制の充実について、期日前投票所の増設という声もあるが、何か動きはあるか。

塩田総務課長：この区提案は、期日前投票をご利用される方が従来に増して多くなったのに伴い、体制の強化を提案しています。期日前投票所の増設は含まれておりません。

みわ議員：次に、正確・丁寧な行政サービスの提供について、去年は個人

情報の流出があったが、港南区役所は新しい庁舎なのでセキュリティーや人員配置は整っていると思うが、昨年起きた事案に対しての区の対応はどうか。

塩田総務課長：過去の事案でマイナンバーの関係の問題がございましたが、局と連携し、防犯カメラの増設等を行いました。

瀬之間議員：地域防災拠点について、地域防災拠点運営委員長等を対象にした研修会は、今までどのくらい開催したのか。

塩田総務課長：この研修会は、今回初めて実施するものです。自治会町内会の役員が交代すると運営委員長も交代することがあり、毎年、運営委員長が交代する地域防災拠点もあります。そのため、地域防災拠点の役割や1年間の流れ等をお伝えする研修会を区で実施します。新任会長の研修ではありますが、他の拠点委員や自治会町内会の会長・防災部長の参加も可能です。

瀬之間議員：町内会長と地域防災拠点の話になったときに、町内会に入っていない方が結構おり、また町内会名簿は個人情報の問題で連絡先情報の記載はないという。何かあったときに連絡できないので、どうにかして欲しいという話があったが、区として対応できることはあるか。

大木地域振興課長：自治会町内会の名簿については、とくに個人情報の取扱いについて、自治会町内会長と関係者の皆様に研修を行った実績がありますので、お問い合わせいただければと思います。

瀬之間議員：来年、野庭中学校と丸山台中学校が合併して野庭中がなくなる。野庭中は地域防災拠点になっているが、合併によりどうなるのか。今までどおり地域防災拠点として利用できるのか。

塩田総務課長：引き続き、地域防災拠点として利用できるよう、教育委員会など関係各所をお願いしていきます。

瀬之間議員：次に、犬を飼い始めた飼い主や、犬のしつけで悩んでいる飼い主を対象とした講習会を実施するとあるが、どこでやっているか。

有竹生活衛生課長：区役所の会議室で行っています。

瀬之間議員：講習会に来る方は、どのぐらいいるか。

有竹生活衛生課長：昨年は68名の方が参加しました。飼い犬の無駄吠えや、呼び戻しがきかないなど、色々なご相談を受けています。

瀬之間議員：次に、災害時用ペットケージを18動物病院へ配備するとあ

るが、どのようなものを、いくつ動物病院に配備するのか。

有竹生活衛生課長：区独自で1病院3台ずつ配備する予定です。サイズはM型で中型犬が入る大きさです。区内の18病院に配備する予定です。

瀬之間議員：無償で配備するのか。

有竹生活衛生課長：はい。区の予算で配備します。

瀬之間議員：次に、区内の路線バスの車内広告スペースに、障害理解の啓発ポスターを掲載することについて、市営バス、江ノ電バス、京浜急行バスとあるが、神奈川中央交通バスは入っていないのか。

竹田高齢・障害支援課長：神奈川中央交通バスも現在、交渉中です。

梶尾議員：昨年の市の意識調査等を見ると、防犯・防災に関する要望は非常に高くある反面、隣近所の顔が見えなくてもいいというデータも増えている。隣の顔が見えない状況は各地で多く見られており、20代、30代、40代の方は比較的単身の方も多し。転入してきた大学生や20代、30代、40代の方は、港南区に根付き、家庭をつくり、将来の区を背負っていく大事な市民になる。防犯対策や災害が起こった時の助け合いの観点から考えると、近隣にどういふ人が住んでいるか知ることは重要なので、その方達がいつまでも港南区に住めるよう、単身の方と町内会のコミュニケーションの新しい形を築き上げていくべきではないかと考えるが、どうか。

大木地域振興課長：自治会町内会の担い手の不足は、大変大きな課題となっています。若い世代、とくに子育て世代の防災関係では、両親が働いていて、放課後など子どもが一人で家にいる場合は、地域の力なしに対応できないというご意見をいただいています。そういった具体的な事例を示しながら、自治会町内会の皆さんと協力して、自治会町内会への加入促進ができればと考えています。

梶尾議員：まだまだ地域の方と行政との乖離が大きいという話もある。立派な区役所ができてスペースもあるので、若い世代の方達に、もう少しこっちに来てくれないかという呼びかける行事やイベントを考えてもらいたい。

田野井議員：今年は開港160年、市制130年、港南区制50年と記念すべき年だ。この記念の年の区づくり推進費予算について、港南区はこれが他区と違うという特徴を区長に伺いたい。また、今富区長

は前職が政策部長だったが、今までの経験を踏まえて今後どうしたいか伺いたい。

今富区長：前職の政策局では、中期計画の策定の中で、高齢化や 2019 年をピークに人口減少することを踏まえて、ここからどうしていくかということをやっていましたが、実際に区に来て、それを肌身で感じています。驚いたのは、港南区は高齢化率が 28%ですが、連合単位では 20%のところもあれば 42%のところもあり、地域によって相当に高齢化率が違うということでした。しかし、高齢化率 42%のところの集まりに行くと、結構お子さんがいるので、「高齢化といってもお子さんいらっしゃいますね」と言ったら、高齢化率が高いからお子さんを巻き込む仕組みやイベントを考えているということでした。誰もが楽しめるカレー会などに、子どもが来て、親も来てと、それぞれの地域で頑張っているなど。我々は、それぞれの地域で頑張っている方に対して、何かご支援できることがあれば一緒にやっていく。地域それぞれが工夫しているというのが、まず港南区における感想です。

区づくり推進費予算については、昨年度に比べ拡充をさせたのが、歩行者サポート事業や通学路カラー舗装事業です。今年度は安全対策を強く押し出している予算と感じています。また、区制 50 周年ですので、それに向けた予算立てはしっかりやらせていただいていますので、議員の皆さんにも、是非ご支援ご協力を賜ればと思っています。

田野井議員：自治会町内会の加入率の問題もある。人口が増える区もあるが、横浜北部のいわゆる横浜都民は昼間約 30%が区外に行く。港南区も昼間の人口が 10%近く区外に行く。また、人口減もあるが、駅前集中型という問題もある。8020というのは、歯医者さんが 80 歳で 20 本の歯をとという運動だが、認知症を防ぐには自分の歯で食べるのが大事なので、三師会も含め進められたらいいという感想を持っている。

また、8050問題というのものもある。官僚のトップだったお父さんが 50 歳の息子を殺めたという悲惨な事件もあり、川崎の登戸での事件もあった。港南警察署と連携して策を立てていると思うが、事件が起きる前に、何をすべきかしっかり考えてもらいたい。

	<p>また、防災マップには載っているが、他区にないものとして港南区には、かながわ平和祈念館がある。子ども会では 30 年以上ここを掃除しているのに、地域の祭りの際ここで子ども達等が休憩していたら入らないようにと言われたことがある。かながわ平和祈念館は県の施設だが、例えば防災協定など、連携しているか。</p> <p>塩田総務課長：具体的な協定などは、結んでいません。</p> <p>田野井議員：港南区には、かながわ平和祈念館のほか、市内で唯一の刑務所など他区にない施設がある。これらの施設もしっかり巻き込んでいてもらいたい。</p> <p>また、ロボットに仕事を奪われる時代がやって来ると思うが、ロボットに負けないように仕事ができるよう、港南区ではこういうことをやっていくということを、政策局から来た区長には率先して進めてもらいたい。</p>
備 考	